



# アカデミーかわら版



## 秋からの講座のご案内

これまでの講座が一部変わり、

新しいワークショップ(WS)が始まります。

受講申込み受付中

2015年度かわさき市民アカデミー後期講座の申込みを受付けています。

申込み締切は8月21日(金)です。定員に満たない場合は先着順で追加募集いたします。

詳しくは「2015年度後期講座のご案内」パンフレットまたは、かわさき市民アカデミーのホームページをご覧ください。来期より土曜日に心理学講座・WSが開講します。また政治・社会WSが金曜日から水曜日の15時開講に変更されます。従来の講座も内容が充実しています。引き続きご受講をお待ちしています。

### 短期集中講座 新百合21会場

- ◆「遣唐使と天平彫刻—東大寺三月堂の仏像群及び戒壇堂の四天王像を中心に」  
女子美術大学名誉教授 齊藤 経生  
◇10/15~10/29 (計3回) 木曜日 16:00~
- ◆「18歳を考える」  
横浜市立大学名誉教授 中西 新太郎ほか  
◇11/26~12/10 (計3回) 木曜日 16:00~

### ◎ 注目の地域協働講座 ◎

生涯学習プラザ会場

- ◆C: 大学連携 定員50名  
「最先端科学の知られざる自然科学史とエピソード」  
慶應義塾大学大学院SDM研究所顧問 狼 嘉彰  
◇10/6~11/24 (計5回) 火曜日 13:30~
- ◆D: 福祉 定員40名  
「認知症の理解と支援—傾聴ボランティア活動」  
◇10/7~12/2 (計10回) 水曜日  
・1回~4回 13:30~15:00  
日本医科大学武蔵小杉病院認知症センター部長 北村 伸ほか  
・5回~10回 13:00~17:00 (2回分/1日)  
NPO法人ホールファミリーケア協会事務局長 山田 豊吉



## 心理学講座/カウンセリングWSの再編について

この度、コーディネーターをお茶の水女子大学名誉教授の内田伸子先生にお願いしたことを機に再編成し、2015年度後期からは新しい形の心理学講座とワークショップ(以下WS)が始まります。WSは講座の講義をさらに深めることを目指しています。その見地から心理学の講座とWSに統一性をもたせる形を検討してきました。

初回のテーマは ①リスク社会でのコミュニケーション力 ②学力格差は超えられるか ③児童虐待防止への挑戦 です。

講師は内田先生をはじめ、新進気鋭の心理学者に担当していただき、実験や討論を組み合わせた、参加型の心理学講座・WSを展開します。現代日本の課題解決の方途を探りつつ、実証科学としての心理学の醍醐味を味わっていただきたいと思います。講座とWSは密接に関係していますので併せての受講をお勧めします。

これまでの受講生層に加え、子育て世代の方々も参加しやすいように、講義日は土曜日、時間は13時30分~17時40分としました。

## 理事会報告

2015年度 第3回（6月）理事会  
6月17日（水）15時30分～



チェックポイント

報告事項：14件 審議事項：3件

### ◎主な報告事項

- ・15年度前期受講者数について
- ・第1回企画・運営委員会について
- ・第1回カリキュラム企画・編成委員会について
- ・第1回三者連絡会議について
- ・特別講座の開催について
- ・理事長プロジェクトについて



### ◎主な審議事項

- ・15年度前期運営代表世話人会議の開催について
- ・アカデミー安全委員会設置要綱の改正について
- ・認定NPO法人に係る寄付金募集活動について

▼5月（第50）号で第1回理事会の報告をしましたが、その後5月29日のNPO総会時に理事長選任に係る臨時理事会がありましたので、今回は第3回目になります。2人の理事が退任し、新たに1人が理事に着任しました。今回は、新体制での初会でした。

▼報告事項としては、新体制になった総務、事業推進、広報、地域連携各部会の第1回会議の報告や抱負、映像・メディア講座関連の特別講座の構想などがありました。

▼向こう1年間の事業を展開するにあたって、明確な方針のもとで各役員がどのように分担していくかという部分について、理事長、学長とともにじっくりと検討する会となりました。

## 「2015年度前期 運営代表世話人会議」が開催されました。



7月1日（水）午前10時から、2015年度前期の運営代表世話人会議が開催されました。

全51講座/WS中、受講生が代表世話人を務める19講座/WS（14名）、代理・追加の世話人は4講座/WS（4名）、NPO役員やフロンティアが代表世話人を務める5講座/WS（3名）の出席があり、合計28講座/WSの代表が集いました。（9講座/WSは運営代表世話人が不在）

はじめに太田学長から挨拶がありました。日頃の世話人の皆さんの献身により、かわさき市民アカデミーは、知的にも規模の面でもすばらしい発展を遂げていることに感謝を表されました。学務の立場から知的魅力を高め内容を充実させて、世話人の皆様とともに力を合わせてアカデミーの今後の発展に取り組んでいきたいとの話をいただきました。

NPOからは、先日開催されたNPO通常総会の議事内容、経営状況の報告、NPO会員募集について、役員の紹介などがありました。また、長田事務局長からかわさき市民アカデミーが「認定NPO」の認可を受けるために申請していることの報告がありました。「フェスタ'15」の実行委員会から、現時点での参加企画の紹介と各講座/WS紹介のパネル展示などへの参加呼びかけがありました。基調講演への期待やその他意見要望をいただきました。広報部会からは後期の受講生募集広報の発表と「アカデミーたより」の案内があり、専用ラックの活用や今後の広報活動についても意見が寄せられました。

代表世話人からNPOの組織の紹介、講座担当役員の紹介、NPO会員について、世話人の仕事などを講座の開始前に説明したりかわら版などで繰り返し知らせ、アカデミーの仕組みを受講生全体に認知してもらう努力をするべきではないかという意見を頂きました。その他、地域協働講座について、南部地域の受講生増加対策、新規講座開設の計画などについて意見や質問が出されました。

ますます発展するかわさき市民アカデミーは運営代表世話人、世話人の皆さんの献身的な活動に支えられています。後期も宜しく願いいたします。

（事業推進部会）



## イチオシ講師の講座報告：他の講座の人にも聴いてもらいたかったなあ～～

というすごい講座のご紹介！



### ◎講座：文学 ノンフィクション文学・この一冊 (Ⅱ) [9]城山三郎 『落日燃ゆ』 東京大学教授 小森 陽一

一人の作家を深く掘り下げること、同時代の作家達から歴史を読み解くこともした。作品を読み込んで、主人公の往來するページの街を歩いたこともある。文学愛好家には堪らない講座である。だが、それだけではなかった。読書の幅を広げたいという声や、新たに文学の可能性について考えたいという要望に一昨年、ノンフィクション文学というジャンルに学習の舵をきった。

そして今期、「ノンフィクション文学・この1冊(Ⅱ)」。敗戦から70年という年に戦後期の作品とその問題点を取り上げ、「引揚」、「抑留」、「復員」、「BC級戦犯」そして「メディア(マスコミ(特に新聞)と国家権力)と今日の問題につながるテーマについて、受講生に共感を与える熱い講師陣で講座が行われている。

今期の第9回文学講座は東京大学大学院教授の小森陽一先生が講師。当講座のコーディネーターでもある。4月の第1回講座では総論として戦中(ポツダム・終戦の詔書)、戦後そしてサンフランシスコ講和条約及び日米安全保障条約について独自の『戦後史』を語ってくれた。

今回のテキストは直木賞作家、城山三郎の『落日燃ゆ』で、庶民から外交官となり軍服・軍靴の跋扈する大戦前夜に諸外国との交渉に真摯に取り組んだ広田弘毅が主人公である。2.26事件の後、囚らずも首相となり、首相辞任後も乞われて外相として政界に再登壇し、まっしぐらに奈落に向かおうとする日本を踏みとどめるべく、冷静に対処する広田を淡々と綴ってゆく。広田の死刑によって物語は閉じるが、なぜ広田が死刑なのかという思いは消えないところである。講義は外交官広田を主人公に据えた意義やキーワードを提示して、太平洋戦争前夜を読み解き現在の政治状況にも言及するとともに、城山の広田像を示唆してくれる。知的好奇心は刺激され傾聴してしまう面白さに満ちていた。

小森先生は2015年度後期文学講座では加藤周一についての講義をされるということなので期待大である。

## イチオシ講師の講座報告：他の講座の人にも聴いてもらいたかったなあ～～

というすごい講座のご紹介！



### ◎講座：自然Ⅱ(川崎学) 川崎の多様な自然 [1] 多摩川・鶴見川低地とその生い立ち [2] 多摩川中丸子の河床に露出する化石カキ礁の観察

神奈川県立生命の星地球博物館名誉館員 理学博士 松島 義章

自然Ⅱ(川崎学)は新設の講座です。川崎の自然を多様な見地から学習することを目指しています。コーディネーターは松島義章先生です。講師陣は生命の星地球博物館の学芸員及びOBで、カリキュラムは一回の講座と次回には実地に確認する野外観察がセットになるように構成されています。

松島先生は地層学の専門家です。講座では多摩川の流れと温暖化と寒冷化を繰り返してきた気候変化との相乗作用で川崎の地形が形成されてきた経緯を詳しく話してくださいました。特に、縄文時代は温暖化の影響で海面が上昇し、川崎市の大部分は海でした。現在の川崎駅も海であったことは地下街アゼリアの開発の際の地層分析から明らかになったそうです。そういえば川崎には貝塚がたくさん残っています。川崎の名も多摩川が運んだ土砂の先に作られた低地との意味だそうです。

4/21には多摩川中丸子の河床に行き、露出している化石のカキ礁の観察によってここが海であった事実を確認しました。長靴に履き替えて干潮の河原を歩きながら先生の熱のこもったお話に耳を傾けていると、かつての川崎の姿が彷彿と浮かんで来ました。



## 事務局コーナー ☂ ☀

梅雨明け☀が待ち遠しい今日この頃ですね。梅雨が明けてしまうと本格的な夏☀が訪れますが、丁度その時期は毎年、来期の「講座のご案内」が配布され始める時期でもあります。皆さんはご覧になりましたか？

今回は前回に比べ、誌面も4ページ増え、更に見やすくなったのではないかと思います。毎学期、講座やワークショップが始まってから、「こんな講座あったんだ。知らなかった。受講したかったな。」とお声を頂きますので、最初から最後までよくご覧になって下さい。

受講申込開始の時期ですが、募集案内は（前回のかわら版にもありましたが）7月8日に印刷所から武蔵小杉のプラザに納品され、そこから申込みの受付を開始します。アカデミーのホームページからの申込みは7月11日から受付を開始します。申込み締切りは8月21日(金)です。

9月の始めにお手元に窓付きクリーム色の封筒が届かない場合は申込み忘れかもしれません。又は…、まずは事務局にお問い合わせください。

ここからは5月6月の流れで、小さな声でつぶやく…と、プレゼント付クイズです。では問題です。今月号に右のイラスト(タツノオシゴ)が『かわら版』の紙面(全4ページ)の中にくいついるでしょう？

右のも1つとカウントします。正解者の中から抽選で5名の方にNPO特製のクリアファイルを差し上げます。宛先：「NPO法人かわさき市民アカデミー かわら版編集委員会」(〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1 3階)へFAX(044-722-5761),メール([info@npoacademy.jp](mailto:info@npoacademy.jp))

又は葉書に①題名または件名に「かわら版7月号 タツノオシゴはいくつ？」とお書きの上、②お名前、③ご住所、④電話番号、⑤タツノオシゴの数を書いてください。⑥かわら版の感想や要望も書いて下さいね。クイズの締切りは7月25日(必着)です。なお、応募資格は2015年度前期講座またはワークショップを受講されている方です。当選は発送をもってかえさせていただきます。

皆様のご応募お待ちしております。

(事務局 清水弘恵)



## アカデミー予定表 2015.7.13 現在



### 2015年7月 予定

8	水	受講申込み開始
11	土	ネット申込み開始
12	日	「受講生募集案内」チラシを新聞折込み
		~20日までに 市民館等専用ラックにパンフレット配架

### 2015年8月 予定

21	金	申込み締切り ☘
25	火	理事会 定員を超えた講座、WSの抽選
28	金	受講決定通知及び受講料納入用紙等発送

### 2015年9月 予定

11	金	受講料振込み締切り
30	水	追加募集の申込み締切り

## 〈編集後記〉

- ◆新しい講座案内が配布されると頭の中はもう来期の事でいっぱいになってしまいそうです。今年は7月の最終週まで講座のあるところが多いです。先生方も受講生も大変ですが最後まで頑張りましょう。
- ◆来期新登場の心理学講座/WSは本当の大学のよ様な(大学以上?)の内容のようです。少しでも興味のある方、是非ご受講ください。
- ◆「講座のご案内」の冊子は是非多めに持ち帰ってお友達やお知り合いに差し上げて下さい。その時に一言添えていただければ効果絶大です。
- ◆今年の夏はどのくらい暑いのでしょうか。昔の暑さとは種類が違うようなこの頃の暑さです。私は家に引きこもります。(t)

発行：NPO法人 かわさき市民アカデミー  
アカデミーかわら版編集委員会



連絡先: TEL 044-733-5590  
メール: [info@npoacademy.jp](mailto:info@npoacademy.jp)  
NPO ホームページ <http://npoacademy.jp>